

SHIBAURA

取扱説明書

RYAN

REN-0-THIN レノシン



当製品を安全に、また正しくお使いいただくために必ず本取扱説明書をお読みください。誤った使い方をすると、事故を引き起こすおそれがあります。

お読みになった後も必ず製品に近接して保存してください。

RYAN製レノシンをお買い上げいただき、 ありがとうございます。

はじめに

この取扱説明書は、RYAN製レノシンの取扱方法と使用上の注意事項について記載してあります。

ご使用前には必ず、この取扱説明書を熟知するまでお読みのうえ、正しくお取り扱い頂き、最良の状態でご使用ください。

- ・ お読みになった後も必ず製品に近接して保存してください。
- ・ 製品を貸与または譲渡される場合は、この取扱説明書を製品に添付してお渡し下さい。
- ・ この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、速やかに当社または当社の販売店にご注文ください。
- ・ なお、品質・性能向上あるいは安全上、使用部品の変更を行うことがあります。その際には、本書内容および写真・イラストなどの一部が、本製品と一致しない場合がありますので、ご了承下さい。
- ・ ご不明なことやお気付きのことがございましたら、お買い上げいただきましたお店、またはお近くの特約店・販売店にご相談下さい。
- ・ 通常のご使用で、万一故障・破損等が発生した場合は、その状態のまま販売店にご相談ください。お客様で分解等をなされた場合、保証期間内であっても保証ができない場合があります。
- ・ 下記マークは、安全上、特に重要な項目ですので、必ずお守りください。この説明書の中の「危険」「警告」「注意」については次の危険業況を意味します。



その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。



その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。



その警告文に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。

- ・ この取扱説明書には安全に作業していただくために、安全上のポイント「安全に作業するために」を記載してあります。使用前に必ずお読み下さい。

目 次

1.	安全に作業するために	3
2.	組立て要領	9
3.	運転要領	11
4.	点検・整備について	12
5.	保管	14
6.	仕様書	15
7.	部品表	16

1. 安全に作業するために

ここで記載されている注意事項を守らないと、死亡を含む傷害や事故、機械の破損が生じる恐れがあります。

・ 一般的な注意事項



警告 排ガスには十分に注意する

締め切った屋内などではエンジンを始動しないで下さい。エンジンは、風通しのよい屋外で始動して下さい。やむを得ず屋内で始動する場合は、十分に換気をして下さい。

【守らないと】

排ガスによる中毒を起こし、死亡事故に至る恐れがあります。



警告 こんな時は作業しない

- ・ 過労・病気、薬物の影響、その他の理由により作業に集中できないとき
- ・ 酒を飲んでいるとき
- ・ 妊娠しているとき
- ・ 18歳未満の人



警告 作業に適した服装をする

はち巻き、首巻き、腰タオルは禁止です。滑り止めの付いた靴を着用し、作業に適した防護具などを付け、だぶつきの無い服装をして下さい。

【守らないと】

機械に巻き込まれたり、滑って転倒する恐れがあります。



警告 機械を他人に貸すときは取扱方法を説明する

取扱方法をよく説明し、使用前に「取扱説明書」を必ず読むように指導して下さい。

【守らないと】

死亡事故や重大な傷害、機械の破損をまねく恐れがあります。



警告 目的外使用の禁止

本機は芝の更新作業を目的に設計、開発されていますので、それ以外の目的で使用される場合、機械の安全に関して保証できませんので、注意して下さい。

【守らないと】

死亡事故や重大な傷害、機械の破損をまねく恐れがあります。



注意 マフラの高温に注意

運転中およびエンジン停止直後の、マフラは高温ですので、触れないで下さい。

【守らないと】

やけどをする恐れがあります。



注意 機械の改造禁止

純正部品や指定以外のアタッチメントを取り付けしないで下さい。
改造をしないで下さい。

【守らないと】

事故、ケガ、機械の故障をまねく恐れがあります。



注意 点検・整備をおこなう

機械を使う前と後には必ず点検・整備をして下さい。特に、ハンドル・ブレーキ・レバーなどの操縦装置及び車輪などの走行装置は、確実に作動するように点検・整備して下さい。

【守らないと】

事故、ケガ、機械の故障をまねく恐れがあります。

・作業前後の確認時、格納時の注意項目



警告 注油、給油はエンジンが冷めてからおこなう

エンジン回転中や、エンジンが熱い間は、絶対に注油、給油しないで下さい。

【守らないと】

燃料などに引火して、火災をおこす恐れがあります。



警告 燃料補給時は火気厳禁

燃料補給時は、くわえ煙草や裸火照明は絶対にしないで下さい。

【守らないと】

燃料などに引火して、火災をおこす恐れがあります。



警告 燃料漏れに注意

燃料パイプが破損していると、燃料漏れを起こしますので必ず点検して下さい。

【守らないと】

火災事故を引き起こす恐れがあります。



警告 燃料キャップをしめ、こぼれた燃料はふき取る

燃料を補給したときは、燃料キャップを確実にしめ、こぼれた燃料はきれいに拭き取って下さい。

【守らないと】

火災事故を引き起こす恐れがあります。



警告 点検整備は平坦で安定した場所でおこなう

機械が倒れたり動いたりしない平坦で安定した場所で、前輪には車止めをして点検整備をして下さい。

【守らないと】

機械が転倒すると、思わぬ事故をまねく恐れがあります。



警告 マフラ・エンジン回りのゴミは取り除く

マフラやエンジン周辺部に、刈り草・ゴミ・燃料などが付着していないか、毎日作業前に点検して下さい。

【守らないと】

火災事故を引き起こす恐れがあります。



警告 駆動レバーとハンドルの点検を必ずおこなう

駆動レバーの効きが悪かったり、またハンドルに著しいガタや遊びが無いように、点検して下さい。

【守らないと】

事故を引き起こす恐れがあります。



注意 点検整備中はエンジン停止

点検・整備・修理または掃除をするときは、必ずエンジンを停止して下さい。

【守らないと】

機械の下敷きになるなど、傷害事故を引き起こす恐れがあります。



注意 カバー類は必ず取り付ける

点検・整備などで取り外したカバー類は必ず取り付けて下さい。

【守らないと】

機械に巻き込まれて、傷害事故を引き起こす恐れがあります。



注意 点検整備は過熱部分が充分冷めてからおこなう

マフラーはエンジンなどの過熱部分が充分に冷めてから点検整備をして下さい。

【守らないと】

火傷をする恐れがあります。



注意 目的に合った工具を正しく使用する

点検整備に必要な工具類は、適正な管理をし、目的に合った工具を正しく使用して下さい。また点検に必要な工具は常備しておいて下さい。

【守らないと】

整備不良で事故を引き起こす恐れがあります。

・ 作業機に関する注意事項



警告 機械の下にもぐったり、足を入れない

機械の下にもぐったり、足を入れたりしないで下さい。

【守らないと】

傷害事故を負う恐れがあります。



警告 強度・長さ・幅の充分あるあゆみ板を使う

積み込み、積み降ろしをするときは、平坦で安全な場所で、トラックのエンジンを止め、動かないようにサイドブレーキを掛け車止めをして下さい。使用するあゆみ板は幅・長さ・強度が十分にあり、スリップのしないものを選んで下さい。

【守らないと】

転落事故を引き起こす恐れがあります。



警告 登るときは前進、降りるときは後退でおこなう

トラックに積み込む時は前進で、降りるときは後進でおこなって下さい。

【守らないと】

バランスを崩し、転落事故を引き起こす恐れがあります。



警告 ロープでトラックに確実に固定する

トラックに乗せて移動するときは、強度の十分にあるロープでトラックに固定させて下さい。

【守らないと】

荷台からグリーンローラが転落して事故を引き起こす恐れがあります。



警告 急な発進、停止、旋回やスピード出しすぎ禁止

発進・停止はゆっくりとおこなって下さい。旋回をするときは、十分スピードを落として下さい。また、凹凸地、傾斜地では、充分速度を落として下さい。

【守らないと】

転倒事故や、機械の破損をおこす恐れがあります。



注意 傾斜地では、惰性運転はしない

傾斜地での走行は十分注意して行なって下さい。惰性運転などはしないで下さい。

【守らないと】

転倒事故や、機械の破損を起こす恐れがあります。

・ 作業時の注意事項



警告 機械から離れる時は平坦地に置きエンジンを止める

機械から離れるときは、平坦で安定した場所に置き、エンジンを止めて、必ず車止めをして下さい。

【守らないと】

機械が動き出し、事故を起こす恐れがあります。



警告 異状な振動が出たら、直ちに点検・修理を行う

異状な振動が出たら直ちにエンジンを停止し、原因を調べて、修理して下さい。

【守らないと】

事故・ケガ・機械の故障を起こす恐れがあります。



警告 急旋回・夜間使用をしない

急旋回しないで下さい。また本機は前照灯を装備していませんので、夜間は使用しないで下さい。旋回するときは、十分に速度を落として下さい。

【守らないと】

事故の恐れがあります。

2. 組立て要領

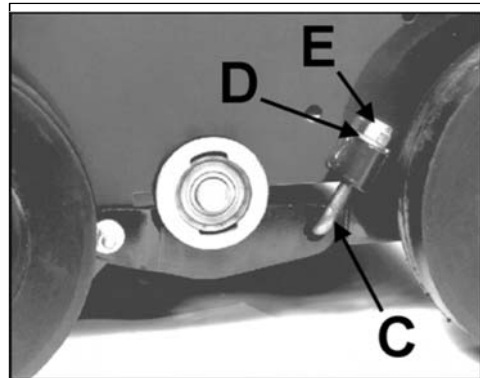
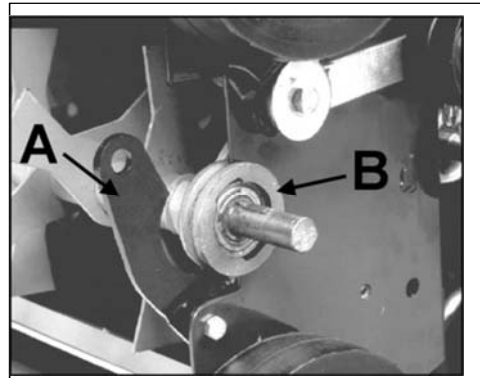
開梱時の点検

開梱する際、輸送時の損傷がないか確認をお願いします。特に以下の項目に注意して確認をお願いします。

- －ハンドル；ウエもしくはハンドル；シタに損傷が無いか。
- －本体フレームやエンジンに損傷が無いか。
- －付属部品の袋が有るか。
- －刈刃 A s s y に損傷が無いか。

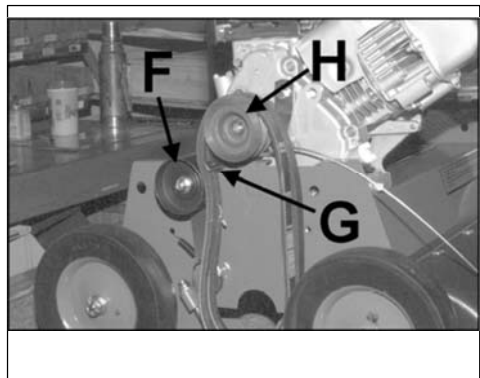
刈刃 A s s y の組付け

1. ベルトカバーを取り外してください。そしてフレームの下側に空間を空けるため、機械を後方に倒してください。
注意：機械が倒れるのを防ぐため、機械に転倒防止の処置をしてください。
2. クランプAを緩め、フレームから刈刃を外してください。刈刃が水平になるように、ベアリングホルダーBをフレームに取り付けてください。
3. ベアリングホルダーBを挟み込むようにクランプAを取り付けてください。ワッシャDとナットEを使用してロッドCを取り付けてください。組付け後刈刃が手で回るか確認してください。



プーリーとベルトの取付け

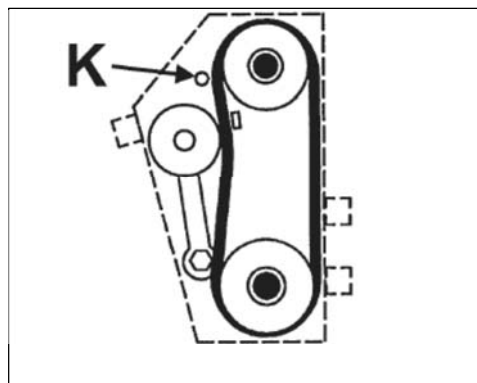
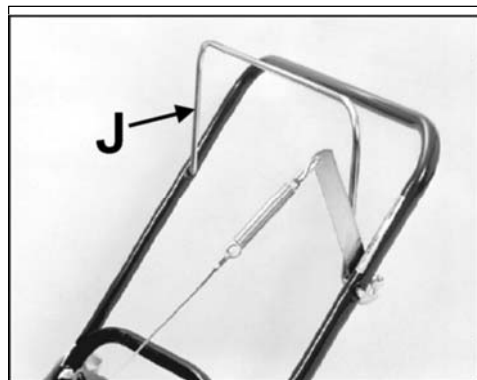
1. 付属品の袋からキーを取り出し、刈刃のシャフトに取付けてください。
2. 刈刃駆動用プーリーに固定ボルトを取付けてください。
3. 刈刃駆動用プーリーを刈刃のシャフトに取付けてください



4. 刈刃駆動用プーリーがアイドラプーリーFとエンジンプーリーHと一直線上になるように調整してください。
5. 刈刃駆動用プーリーの固定ボルトを締付けて固定してください。また、エンジンプーリーの固定ボルトが締付けてあるか確認をお願いします。
6. アイドラプーリーとアイドラアームのガイドGの間にベルトを通し、それからエンジンプーリーと刈刃駆動用プーリーにベルトを掛けてください。

ハンドルと駆動ワイヤーの組付け

1. 付属品の袋のボルト・ナットを使用してハンドル；ウエとハンドル；シタを組付けてください。
2. ハンドルの先端をフレームに組付けピンで固定してください。
3. 付属品の袋のスプリングをクラッチワイヤーの先端に取付け、反対側のフックをハンドルのクラッチレバーに取付けてください。
4. クラッチレバーを引いて、アイドラプーリーがベルトを押し付けていることを確認してください。
5. クラッチレバーを戻して、アイドラプーリーがベルトから離れ、エンジンプーリーからもベルトが離れることを確認してください。
6. ベルトガイドKがベルトの外側にあることを確認して、ベルトカバーを再度取付けてください。



タイヤホイールへの注油について

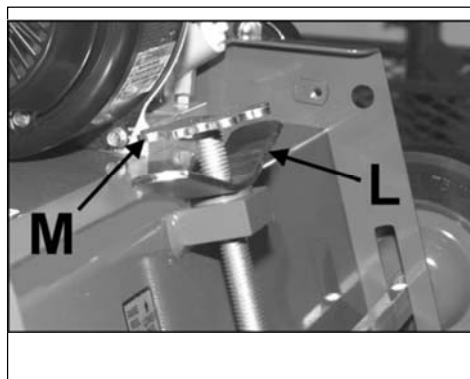
タイヤホイールのベアリングへの注油は、グリスガンを使用して注油してください。
タイヤホイールの注油は最初に使用する前とそれ以降は25時間毎に実施してください。

刈刃の高さ調整について

- ・ 刈刃の高さはロックレバーLを緩め調整ノブMを回転することで、前輪の位置を上下に移動し調整することができます。

※刈刃を取付けた後は、最初に硬く平らな面の上で調整してください。

- ・ 最初に狭い範囲で試運転をして、それから、芝の状況に合わせて刈刃を調整してください。
- ・ 前輪の高さ調整だけで刈刃の高さ調整が出来ない場合は、後輪の高さ調整をする必要があります。刈刃の位置を下げるには後輪の取付け穴を上の方に、刈刃の位置を上げるには後輪の取付け穴を下の方に移動してください。



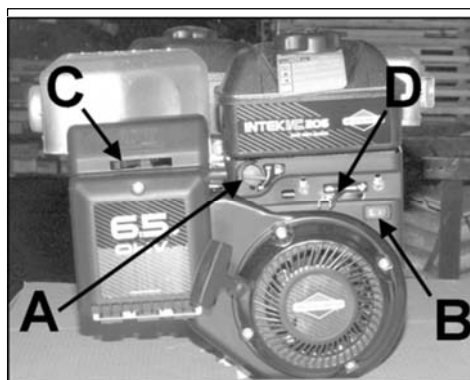
3. 運転要領

始業前点検

1. ボルト・ナットの緩みや部品の損傷が無いか確認をお願いします。
もし、緩みや損傷が見られた場合は修理もしくは交換をお願いします。
2. 刈刃の曲がり・損傷を確認して、必要に応じ交換をお願いします。
3. エンジンオイルの量を確認してください。必要に応じ補充をお願いします。
4. 燃料を補充してください。

エンジンの始動

1. 燃料コックAを“ON”の位置にしてください。
2. エンジン停止スイッチBを“ON”の位置にしてください。



3. チョークレバーCを“チョーク”の位置にしてください。
4. アクセルレバーDを“高速（ウサギ）”の位置にしてください。
5. スターターグリップを引いてエンジンを始動してください。
6. エンジンが始動したら、チョークレバーCを“運転”位置にしてください。
7. 必要に応じ、アクセルレバーDを調整してください。

操作方法

1. 芝の損傷やエンジンの停止を防ぐために、刈刃を駆動させる前に機械を動かしてください。また、停止する前に刈刃の駆動を停止してください。
2. 均一な速度で芝を移動してください。
3. 旋回中の芝の損傷を防止するため、旋回するために速度を緩める前、もしくは停止する前に刈刃の駆動を停止してください。
4. もし作業中にエンジンの回転数が下がるようなら、通常の回転数で作業できるようになるまで、刈刃の高さを上げてください。

注意：硬いものがある状態や、道路のように硬い表面の上を刈刃を駆動した状態で移動しないでください。刈刃が損傷する恐れがあります。

4. 点検・整備について

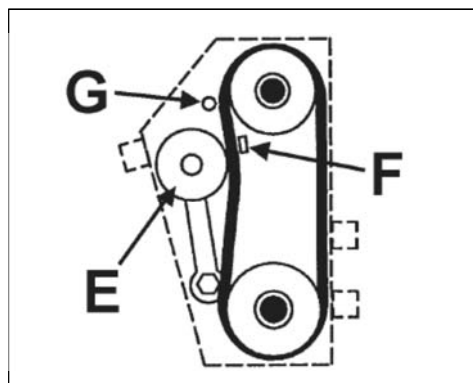
ベルトの交換

ベルトの張りはクラッチレバーを介し、スプリングの力で維持されています。

注意：適正な作業の為には同じ条件のベルト2本を使用する必要があります。もしベルト1本を交換する必要がある場合には、ベルトの張りを均等にするために2本同時にベルトを交換してください。

1. ベルトカバーを外して古いベルトを取外してください。

2. アイドラプーリーEとアイドラアームのガイドFの間に新しいベルトを通し、それからエンジンプーリーと刈刃駆動用プーリーにベルトを掛けてください。
3. ベルトガイドGがベルトの外側にあることを確認して、ベルトカバーを再度取付けてください。

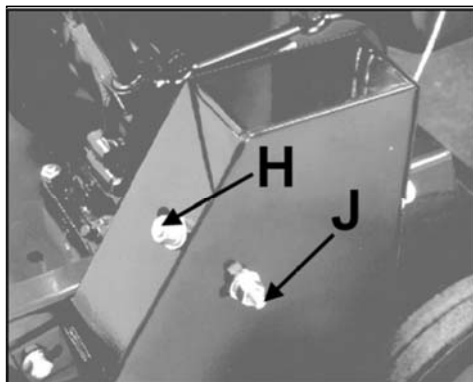


注油

刈刃駆動用とアイドラプーリーのベアリングはシールドベアリングを使用していますので、注油は不要です。タイヤホイールのベアリングには注油が必要です。25時間毎にグリスガンを使用して注油をお願いします。

ベルトガイドロッドの調整

ベルトガイドには2本のベルトガイドロッドがあります。エンジンプーリーとベルトの隙間調整には長い方のロッドHを使用してください。クラッチレバーを戻した時に、刈刃を止めるブレーキの調整には、短い方のロッドJを使用してください。



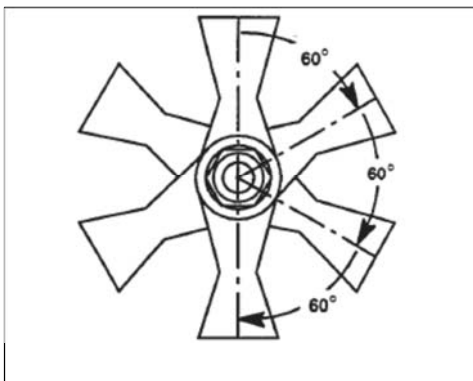
この2本のロッドの調整は非常に重要です。ベルトカバーを外した場合は、2本それぞれのボルトが適正な位置にあるか確認をしてください。

刈刃の交換

固定刃

刈刃が摩耗したり破損した時や他の刈刃に交換する時はスペーサーも同時に交換してください。

1. フレームから刈刃A s s yを取外してください。
2. 刈刃駆動用プーリーが取付けてある側とは反対側の刈刃シャフトの先端からベアリングを取外してください。カラーを固定している固定ボルトを取外してください。ベアリングをシャフトから外しやすくするために、刈刃の回転方向とは反対側におよそ1/4回転ベアリングを軽くたたいてください。



3. シャフトからナットと取外し、それから刈刃とスペーサーをシャフトから取外してください。

注意：刈刃を再組付けする時は両端をスペーサーにしてください。刈刃を両端にしてナットで固定しないようにしてください。刈刃の向きは隣の刈刃に対して60°ピッチで取付けてください。

4. 刈刃とスペーサーと取付け、それからナットで固定してください。

5. 取外しの時と逆の手順でベアリングを取付けてください。

注意：刈刃の片側の刃が摩耗した場合は、刃の向きを反対にして再度使用してください。

フレール刃

交換する時は6本の刈刃のシャフトA s s yを1本ずつ交換してください。

1. 6本のうち1本の刈刃のシャフトの先端のピンを取外してシャフトを引抜いてください。
2. シャフトを差し込みながら、刈刃と摩耗した部品を取外した順番に沿って交換してください。
3. シャフトを固定するためにシャフトの先端にピンを取付けてください。

5. 保管

注意：燃料の気化による爆発や発火を防ぐため、燃料タンクやキャブレターに燃料を入れた状態で機械を保管しないでください。

日常使用後の保管

1. エンジンが冷えたあとに水で機械を洗浄してください。
2. 刈刃に損傷が無いか確認してください。ひび割れや破損、摩耗、曲がりがある時は交換してください。
3. エンジンオイルの量の確認とエアクリーナーの詰まりや汚れを確認してください。

30日以上保管する場合の保管

1. 燃料タンクと燃料配管から燃料を抜いてください。

2. キャブレター内の燃料が無くなりエンジンが停止するまでエンジンを運転し続けてください。
3. エンジンオイルを交換してください。交換時は次回使用する季節に合わせたグレードのオイルを使用してください。
4. スパークプラグを外してシリンダー内に少量のエンジンオイルを垂らしてください。シリンダー内を潤滑させるために、2・3回ゆっくりとスターターケーブルを引いてください。
5. 刈刃の損傷を確認して必要なら交換してください。
6. タイヤホイールのベアリングにグリスガンで注油してください。

長期保管後の運転準備

1. 各部の緩みが無いか確認してください。緩んでいる場合は締付けてください。
2. 刈刃の劣化を確認して必要なら交換してください。
3. 燃料タンクに燃料を補充してください。
4. エンジンオイルの量を確認してください。
5. エンジンを始動して燃料の漏れが無いか確認してください。燃料漏れがある時は機械を使用する前に修理してください。

6. 仕様書

エンジン	Briggs & Stratton 4サイクルガソリンエンジン
型式	121432
馬力	6.5HP
始動方式	リコイルスターター
回転数	3600rpm（無負荷最高回転）
重量	48kg
刈刃回転数	2700rpm
作業幅	457mm
作業深さ	22mm（最大）
作業高さ調整範囲	地表25mm～地中22mm